

## 平成19年度研究連絡会議議題等一覧

回数 開催月日	議題等	内容等
第59回 4月20日	(1) 平成19年度調査研究課題について	・平成19年度の調査・研究課題（① 展示会開催のための所蔵資料の調査研究、② 内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成（4年計画の最終年）、③ 当館所蔵の朝鮮本の解題（4年計画の最終年）、④ 公開に関する手続き及び基準の検討、⑤ 既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、それぞれを担当する専門官、研究官から、調査研究課題について説明があり、質疑応答を行った。
	(2) 平成19年度秋の特別展について	平成19年度秋の特別展（漢籍展）についての、会期、展示趣旨、具体的展示物、講演会演者等の説明があり、質疑応答を行った。
	(3) ICA 執行委員会及びアイスランド国立公文書館創立125周年記念セミナーについて	・アイスランドのレイキャヴィークで開催されたICA 執行委員会、アイスランド国立公文書館創立125周年記念式典及びセミナーについて、出席した専門官から報告を行った。 ・執行委員会では、財政問題、役員任期の短縮問題及び次期事務総長の選考問題等についての議論を行った。
	(4) 全米東アジア図書館協議会（CEAL）年次総会出席報告他	・3月に米国ボストンで開催されたCEALについて、出席した専門官から報告が行われた。 ・コロンビア大学/東アジア図書館及びハーバード大学イェンチェン図書館で開催されたワークショップについて報告した。
	(5) 平成19年度研究連絡会議開催予定について	19年度の研究連絡会議の開催予定について報告が行われ、了承された。
	(6) 研修用教材「国立公文書館における資料修復」の視聴	研修用教材「国立公文書館における資料修復」の視聴を行った。
第60回 5月18日	(1) 平成19年秋の特別展について	・平成19年秋の特別展について、会期、展示趣旨、展示資料、講演会講師等の説明があり、質疑応答を行った。特別展のタイトルは、「漢籍」と決定した。
	(2) 平成20年春の特別展について	・平成20年春の特別展について、タイトル案、構成案、会期、展示内容案等の説明があり、質疑応答を行った。 ・会期は4月1週目から連休前に終了する方向で了承された。
	(3) つくば分館における平成19年夏の企画	・つくば分館における平成19年夏の企画展について、「海の日」の翌日から3カ月間開催、8月の土曜日だけ試験的に開館するこ

回数 開催月日	議題等	内容等
	展について	と。企画展の広報、展示内容、イベント行事及び常設展示等について説明があり、質疑応答を行った。
	(4) 中間書庫関連民間倉庫見学結果報告	・三井倉庫、住友倉庫の見学結果が報告された。(セキリュティ管理、レコードセンター機能と各種サービス等、中間倉庫に求められる機能等)
	(5) 日米アーカイブセミナー参加報告	・5月9日~11日東京大学で行われた日米アーカイブセミナーについて、参加した専門官から報告が行なわれた。 ・11日の公開セミナーには、150名の参加があり、日米のアーカイブズに対するアクセスに関する議論を行った。
第61回 6月15日	(1) 平成19年秋の特別展「漢籍」のサブタイトルについて	・平成19年秋の特別展「漢籍」のサブタイトル案について、説明があり、意見交換が行われ、担当者に一任ということでした。
	(2) 平成19年度「北の丸」掲載予定論文について	・『北の丸』第40号の構成案について説明があり、内容の充実のための編集方針の改善案及び、意見交換を行った。掲載論文の基準等については、引き続き検討することとなった。
	(3) 専門職員養成課程における専門官等担当講座について	・今年度を実施する専門職員養成課程について、主な内容及び昨年度との変更点等について、担当者が説明した。 ・講義を担当する理事、専門官等が講義概要を説明した。
	(4) 平成19年度全国公文書館長会議報告	・平成19年度全国公文書館長会議について、日程、議事次第等、地方公文書館等のデジタルアーカイブ化推進、指定管理者制度に関するアンケート等の結果についての説明があった。
	(5) EASTICA・香港大学アーカイブズ学講座報告	・EASTICA、香港大学主催のアーカイブズ学講座について、参加した係長から報告があった。
第62回 8月1日	外部講師による講義	① メリーランド大学図書館長チャールズ・B・ラウリー氏から「デジタル・アーカイビング：現状の検証」 ② メリーランド大学図書館、プランゲ文庫室長坂口英子氏から「メリーランド大学図書館所蔵プランゲ文庫紹介と資料構成」と題して講演が行われた。終了後、質疑応答・意見交換を行った。
第63回 9月21日	(1) 中間書庫事業について	・中間書庫事業の進捗状況等について、担当者から説明があり、現状での問題点、今後の対応等について質疑応答を行った。

回数 開催月日	議題等	内容等
	(2) 米国国立公文書記録管理局における中間書庫事業等について	・米国国立公文書記録管理局を視察した専門官が、運営方法の検討課題も含めて意見交換が行われた。NARA 作成の DVD を使用し、施設等を説明した。
	(3)平成 19 年度内閣府における電子公文書等の管理・長期保存等に関する調査研究について	・電子公文書等の管理・長期保存等に関する調査研究について、担当者が主な調査内容、スケジュール等を説明した。
	(4) つくば分館夏の企画展「さかな・魚・肴」を終了して	・つくば分館夏の企画展「さかな・魚・肴」の終了報告が行われた。昨年からの改善点 3 点①つくば駅にチラシを配置②各種イベントとの抱き合わせ開催③つくば市主催ちびっこ博士事業「スタンプラリー」への参加等により、来館者が増加した旨の報告を行った。
	(5) 米国大使館レファレンス資料室主催シンポジウム参加報告	・8 月 31 日にアメリカ大使館で行われた、NARA 記録サービス局長マイケル・カーツ氏による講演について、参加者からの報告を行った。
	(6)研修における専門官・研究官担当講座について	・理事から、来年度の研修プログラムについて、要望、改善等があればとの問いかけがあったが、特に発言はなかった。
第 64 回 10 月 12 日	(1) 平成 20 年春の特別展について	・平成 20 年春の特別展「病と医療」について、展示資料等の説明があり、質疑応答を行った。
	(2) 平成19年度調査研究課題について	・平成 19 年度の調査研究課題（① 展示会開催のための所蔵資料の調査研究② 内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成、③当館所蔵の朝鮮本の解題、④公開に関する手続き及び基準の検討、⑤既存目録の検索手段の充実及び見直し）について、担当の専門官、研究官から、調査研究課題の進捗状況について説明があり、いくつかの指摘がなされた上で、了承された。
第 65 回 11 月 9 日	(1) 外部講師による講義	・「地方自治体における公文書館の現状と課題について―業務、組織等の見直しを中心に―」をテーマに発表が行われ、また、質疑応答が行われた。①北海道立文書館轟原美恵子氏から「北海道立文書館の現状と課題について」、②京都府立総合資料館渡辺佳子氏から「地方自治体における公文書館の現状と課題について」

回数 開催月日	議 題 等	内 容 等
第 66 回 11 月 30 日	(1) 平成 19 年度移管の申出について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度移管に関して、各府省庁からの事前申出、事前協議等についての進捗状況等が報告され、前年度に比べて、移管の事前申出が増加している旨の発言があった。その後、各府省庁担当専門官、研究官からより詳細な報告が行われた。次のような発言があった。</li> </ul>
	(2) つくば分館における平成 20 年夏の企画展について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば分館における平成 20 年夏の企画展については、分館創立 10 周年記念の展示会として、「旅ゆけば～つくば！」のテーマで行いたい旨の説明がされた。</li> <li>・本館の展示のリメイクではなく、分館独自の展示を企画し開催する。また、県内の文書館、博物館とも連携して、企画内容を充実させたいとの説明があり、了承された。</li> </ul>
	(3) アジア歴史資料センターのデモンストレーションについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小樽商科大学でのアジア歴史資料センターのデモンストレーションの様子及び同大学の授業でアジア歴史資料センターの画像データが活用されている状況が紹介された。</li> </ul>
	(4) 「日本国内所在の主要アジア歴史資料」について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「日本国内所在の主要アジア歴史資料」の調査の目的、経緯、内容、反響等についての説明があり、質疑応答を行った。</li> </ul>
第 67 回 12 月 21 日	(1) 国際公文書館東アジア地域支部 (EASTICA) 東京総会開催報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京総会の準備状況及び総会について、担当の首席公文書専門官から報告が行われた。セミナー等への参加者約 120 名、シンポジウムへの参加者約 150 名と盛況に行われた。総会では、菊池館長が新 EASTICA 議長に選出された。また、2008 年のセミナーは韓国で、2009 年第 9 回総会は中国の青島で開催（予定）が決定された。</li> </ul>
	(2) 第 40 回国際公文書館円卓会議(CITRA) 参加報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10 月にカナダのケベック・シティで開催された第 40 回国際公文書館円卓会議 (CITRA) について、出席した専門官から報告が行われた。執行委員会、プレ会議セミナー、円卓会議セッション及び年次総会の各概要について報告が行われ、年次総会では、次期の事務総長候補が満場一致で選出され、さらに、大会決議が採択された。また、同会議は、菊池館長が議長を務める最後の会議であった。</li> </ul>
	(3) アジア歴史資料センター長の韓国出張報告について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石井アジア歴史資料センター長の韓国出張について、同行した専門官から報告が行われた。外交通商部（外交史料館、安保研究院）、ソウル大学、国史編纂委員会、国家記録院等を訪問するとともに、ソウルでは、日本大使館広報文化院ホールで講演会を開催した。</li> </ul>

回数 開催月日	議題等	内容等
第 68 回 1 月 18 日	(1) 平成 20 年春の特別展について	・平成 20 年春の特別展について、アドバイザー会議の内容等の説明を行った。
	(1) 平成 20 年秋の特別展について	・平成 20 年秋の特別展について、展示内容の構成、タイトル、展示期間等の説明が行われ、タイトルについては、更に検討して欲しい旨の意見があった。
	(2) その他	① 常設展について、明治の後半、天正の順で開催を予定している旨の説明があった。 ② 夏企画展について、テーマは、「オリンピック」、「暦」を検討している旨の説明があった。
第 69 回 2 月 15 日	外部講師による講義	・山崎久道中央大学文学部教授から、「日本の情報資源に関する問題点と政策的対応の必要性 ―データベースを例に― 」と題して講義があり、終了後、質疑応答を行った。
第 70 回 3 月 14 日	(1) 平成19年度調査研究課題について（本年度の総括）	・平成 19 年度の調査研究課題（①展示会開催のための所蔵資料の調査研究、②内閣文庫所蔵資料の図版所在情報の作成（4 年計画の最終年）、③当館所蔵の朝鮮本の解題（4 年計画の最終年）、④公開に関する手続き及び基準の検討、⑤既存目録の検索手段の充実及び見直しについて、担当する専門官、研究官から、本年度の調査研究の結果について報告があり、質疑応答が行われた。 ・電子公文書関係の調査研究（マクロ評価選別の日本版マニュアルを作成するための事例研究）について、業務課から報告が行われた。研究結果は事務的な報告の他に、院生の記名論文を北の丸に掲載してもらうことを考えているとの発言もあった。
	(2) 平成 20 年春の特別展について	・平成 20 年春の特別展について、展示内容、講演会講師、アドバイザー会議メンバー等の検討状況の説明を行った。
	(3) 平成 20 年度第 1 回常設展について	・平成 20 年第 1 回常設展の概要について、担当専門官から説明があり、質疑応答を行った。テーマは「明治から大正へ」、開催期間は、5 月 2 日から 9 月 19 日です承された。
	(3) 平成 20 年夏の企画展について	・平成 20 年夏の企画展の概要について、担当専門官から説明が行われた。会期は、7 月 22 日（月）～9 月 19 日（金）、テーマは「オリンピック」とし、本年 8 月に北京オリンピックが開催されること等から当館所蔵資料のほか、関係機関所蔵資料及び写真、ポスターなどを活用した展示を行うことが了承された。

回数 開催月日	議題等	内容等
	(4) 平成 19 年度マクロ評価選別に係る基礎的調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 19 年度マクロ評価選別に係る基礎的調査研究について、3つの視点から実施した。①カナダの BASCS の検討、②オランダの PIVOT プロジェクトの検討、③日本版機能別評価選別マニュアル素案の作成、から実施されたとの報告を行った。</li> </ul>